

**千葉大学 未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点
研究支援専門人材（拠点長サポート部門 広報担当）募集要項**

公 募 内 容	募集職名	特任専門職員（常勤）・広報担当（サイエンスコミュニケーター）
	募集人員	1名
	募集対象者	<p>大学の研究成果やサイエンスを理解できる素養と、一定程度以上の業務経験を有する方。</p> <p>具体的には、次の条件を全て満たす方。</p> <p>(1) 医学・生命科学系の分野に関する専門知識を有すること。特にワクチン、製薬、免疫のいずれか又は複数の分野の知見があることが望ましい。</p> <p>(2) サイエンスコミュニケーターとして、HP等での情報発信に意欲を有すること。</p> <p>(3) 業務に必要なパソコンスキル（Word、Excel、Power Point）、文書作成等の事務処理能力を有すること。</p> <p>(4) 研究支援の業務経験を有することが望ましい。</p> <p>(5) 研究支援における強い意欲、行動力、プレゼンテーション力を有すること。</p> <p>(6) 多様な職種の方と、円滑なコミュニケーションがとれること。</p>
	所属	未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点
	専門分野	医学・生命科学系の分野に関する専門知識を有すること。特にワクチン、製薬、免疫のいずれか又は複数の分野の知見があることが望ましい。
	担当業務	<p>拠点長が臨機応変かつ迅速に研究マネジメントが遂行できるよう、研究戦略・企画や総合的なマネジメントについて、拠点長、副拠点長を補佐する拠点長サポート部門の一員として、拠点主催のセミナーや活動状況及び、研究状況についてHP等で情報発信を行う。また、その他の研究支援に係る業務にも従事していただく可能性があります。</p> <p>※自らが競争的資金等の研究代表者及び分担者になることはできません。</p>
採用時期	2024年4月1日以降のできるだけ早い時期（応相談）	
待 遇 ・ 所 属 等	給与等	年俸制（学歴・職歴を考慮し、本学の特定雇用職員給与規程に基づき決定）
	勤務時間※	8時30分～17時15分（1日当たり7時間45分勤務）
	休日※	週休日（土曜、日曜）、祝日及び12月29日から翌年1月3日
	休暇等※	年次有給休暇、特別休暇（産前産後休暇、忌引休暇等）、病気休暇、育児休業等
	福利厚生	文部科学省共済組合・厚生年金・雇用保険・労災保険に加入
	任期	採用日～2025年3月31日まで（勤務状況等に応じて更新の可能性あり。）
	所属等	未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・特任専門職員での採用を原則としますが、経験・能力等に応じて上位の職名で採用する場合があります。 ・毎年度、業務の進捗状況等の確認・評価を実施します。 ・能力等に応じて昇格の可能性ががあります。 	

※詳細は千葉大学特定雇用職員就業規則参照

提出書類	① 履歴書（本学様式（以下の URL からダウンロードできます） https://www.chiba-u.ac.jp/general/recruit/recruit_staff/staff/index.html
------	---

提出締切日	随時選考実施（決定次第終了）
書類提出先・ 問合せ先	千葉大学 未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点 事務部門 (Mail : wkyoten-soumu@chiba-u.jp) (Tel : 043-226-2072) ※郵送での書類提出を希望される場合は「ワクチン拠点応募書類在中」と朱書きの上、簡易書留・レターパック等配送履歴の残る方法により下記までお送りください。 〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 国立大学法人千葉大学 未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点 事務部門 担当：コンノ
留意事項	① 応募書類は、本選考以外には使用しません。 選考後は責任をもって破棄します。 ② 選考過程で面接を実施する場合があります。 （面接に伴う交通費等の費用の支給はありません） ③ 教育研究業績が同等であれば、女性、外国人を積極的に採用します。

【未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点について】

千葉大学は、日本医療研究開発機構（AMED）「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」において、東京大学（フラッグシップ拠点）、大阪大学・長崎大学・北海道大学（シナジー拠点）とともに、シナジー拠点として採択されました。これを受け千葉大学に「未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点」が2022年10月1日に設置されました。

https://www.amed.go.jp/koubo/21/02/2102C_00002.html

https://www.chiba-u.ac.jp/others/topics/info/post_1093.html

<https://csimva.chiba-u.jp/>

「未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点」（拠点長：清野 宏 卓越教授）では、全身免疫に加えて、従来の注射型ワクチンでは誘導が難しい粘膜免疫をともに惹起でき、感染阻止と重症化回避ができる粘膜ワクチン（経鼻や経口等）の開発等を推進します。

具体的には、ヒト細胞共培養やオルガノイド技術等を利用したヒト粘膜免疫の理解や、病原性免疫記憶、生体防御免疫記憶等の免疫誘導の場と記憶免疫の理解に基づいた粘膜ワクチン研究開発を推進します。さらに、「呼吸器感染症をターゲットにした経鼻ワクチン」、「腸管感染症の予防を目指す経口ワクチン」の開発を中心に推進し、研究部門、附属病院、企業との強力な連携により、有効で安全・安心な粘膜ワクチンの実用化による社会貢献を目指します。